

一関市民歌 (平成19年1月29日制定)

作詞 北川 康宏
作曲 高嶋みどり

明るく爽やかに ♩=100

み どくぜ りると ゆきひ たせか かつり にをを さうと わつも やしと かし

にすて むげき ろんた ねびか くげみ りいが こびわ まのは そせな びいが えりれ たうゆ

つにく そうは らたる のこか あえな おたと さかき にくを いこし だだの かまび れしつ

ててつ さおあ えおし すきた るなを こゆつ とめく りをる あふわ そくか ぶらい こまほ らすし しこほ ぜこほ んろう とのの といか もとね

にをが いっひ きむび るぐく ままま ちちち せいせい ききき しこほ んろう とのの といか ががが ややや

くく いい ちちち ののの せいせい ききき しこほ んろう とのの といか もとね にをが いっひ

1, 2. きむ るぐ まま ちち いい ちち のの せいせい ききき めか びくま ちち

ち の せ き

一 緑ゆたかに 爽やかに
室根 栗駒 そびえ立つ
空の青さに いだかれて
さえずる小鳥 遊ぶ子ら
自然と共に 生きるまち
いのち輝く いちのせき

二 巡る季節を 映し出す
厳美 猊鼻の 清流に
歌声高く こだまして
大きな夢を ふくらます
心の糸を 紡ぐまち
笑顔輝く いちのせき

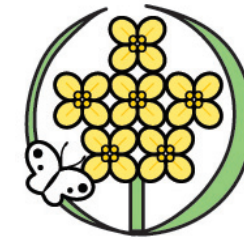
三 風と光を 友として
北上川は 流れゆく
遙かなときを 偲びつつ
明日をつくる 若い星
希望の鐘が 響くまち
未来輝く いちのせき

市章 (平成17年11月15日制定)



一関市が人々に愛され、親しまれ、さらに発展する姿をイメージし、「一関市」の「い」の字を基にデザインしています。
青は中央部を流れる北上川やその支流の川の色を、また緑は奥羽山脈や北上山系の森の色をイメージしており、一関市の豊かな自然を表現しています。

市の花・木・鳥 (平成18年8月1日制定)



市の花 **なのはな**

昔から作物として人々の生活との関わりが深く一面黄色に群生している様は、市民の連帯と協調を表す花としてふさわしい。



市の木 **ぶな**

栗駒山や室根山などに原生し、豊かな自然環境の象徴であり、うるおいのある健やかな市民生活を表す木としてふさわしい。



市の鳥 **うぐいす**

昔から人々に愛され、春の訪れを感じさせる美しい鳴き声は市民の高い精神性・文化性を象徴し、明るく安らぎのあるまちづくりを表す鳥としてふさわしい。